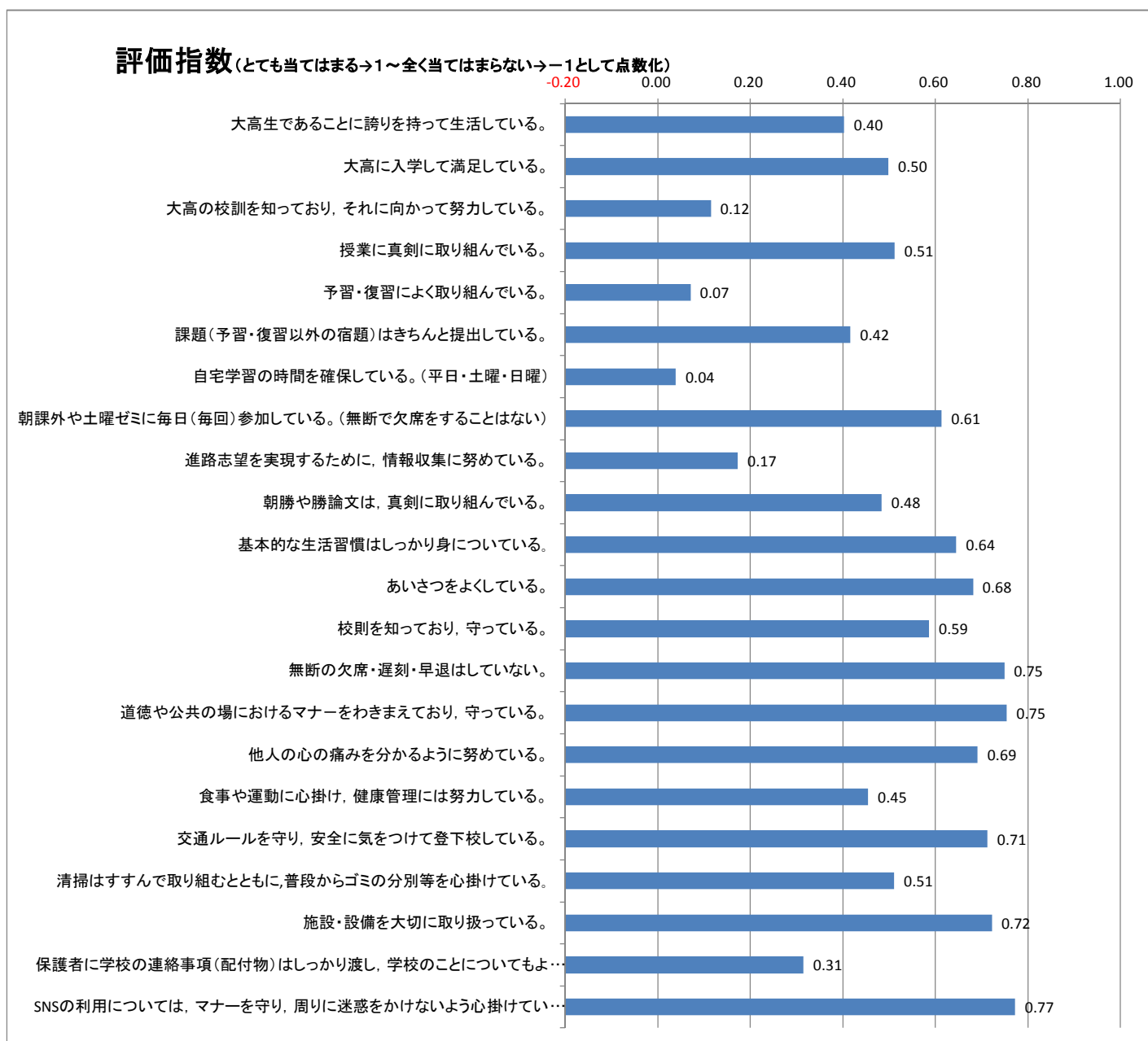


平成30年度 第2回 学校生活に関する自己評価(生徒用)集計結果 1年



● 自己評価の高かった項目

- 第1位→ SNSの利用については、マナーを守り、周りに迷惑をかけないように心掛けている。
- 第2位→ 無断の欠席・遅刻・早退はしていない。
- 第3位→ 道徳や公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。

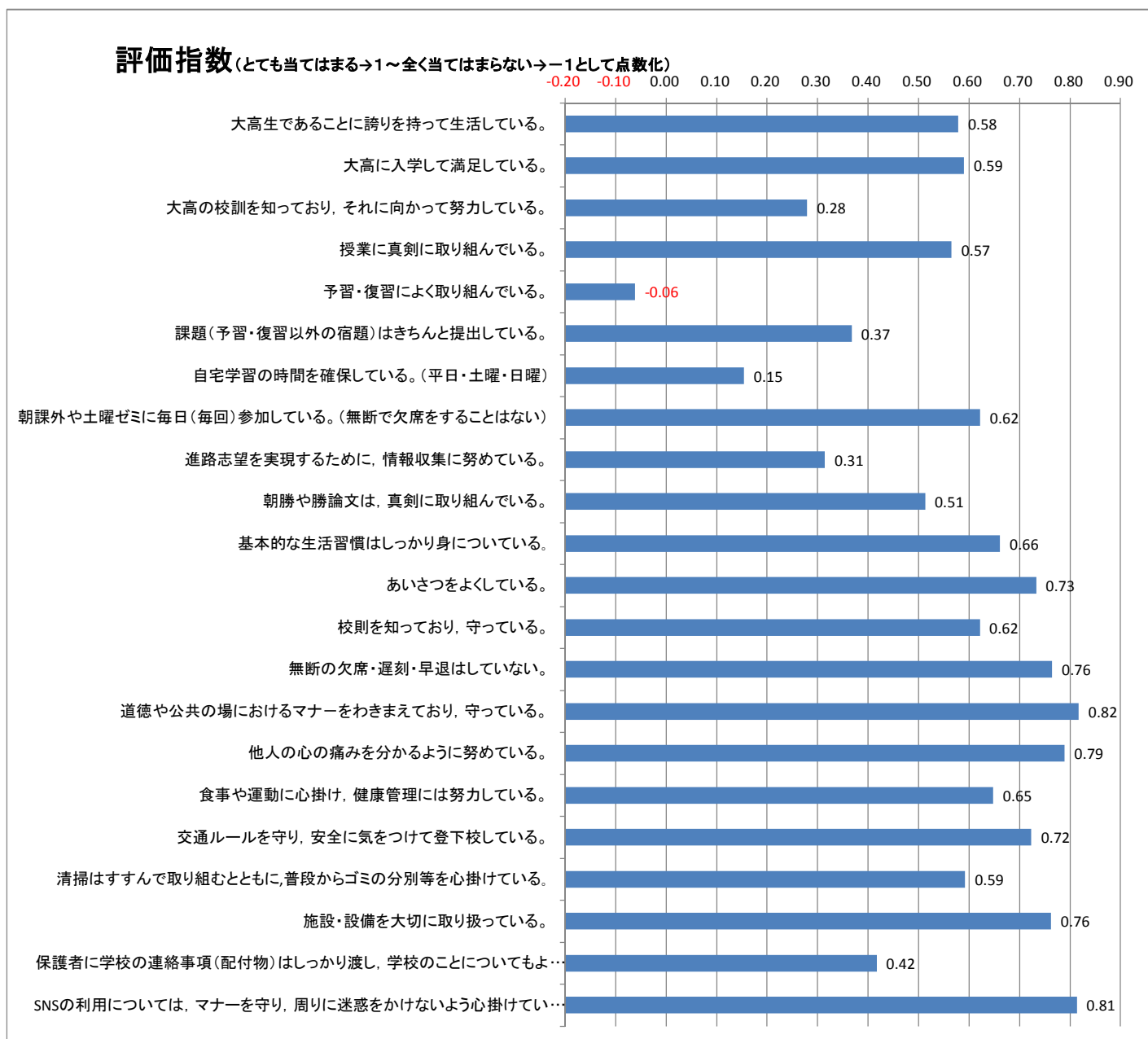
● 自己評価の低かった項目

- 第1位→ 自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)
- 第2位→ 予習・復習によく取り組んでいる。
- 第3位→ 大高の校訓を知っており、それに向かって努力している。

● 分析

1学期と比べて下降しているものとして、「課題の提出」(「0.66」→「0.42」)、「自宅学習の時間」(「0.23」→「0.04」)、「無断の欠席・遅刻・早退はしていない」(「0.90」→「0.75」)等が気になる。

平成30年度 第2回 学校生活に関する自己評価(生徒用)集計結果2年



● 自己評価の高かった項目

- 第1位→ 道徳や公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。
- 第2位→ SNSの利用については、マナーを守り、周りに迷惑をかけないように心掛けている。
- 第3位→ 他人の心の痛みを分かるように努めている。

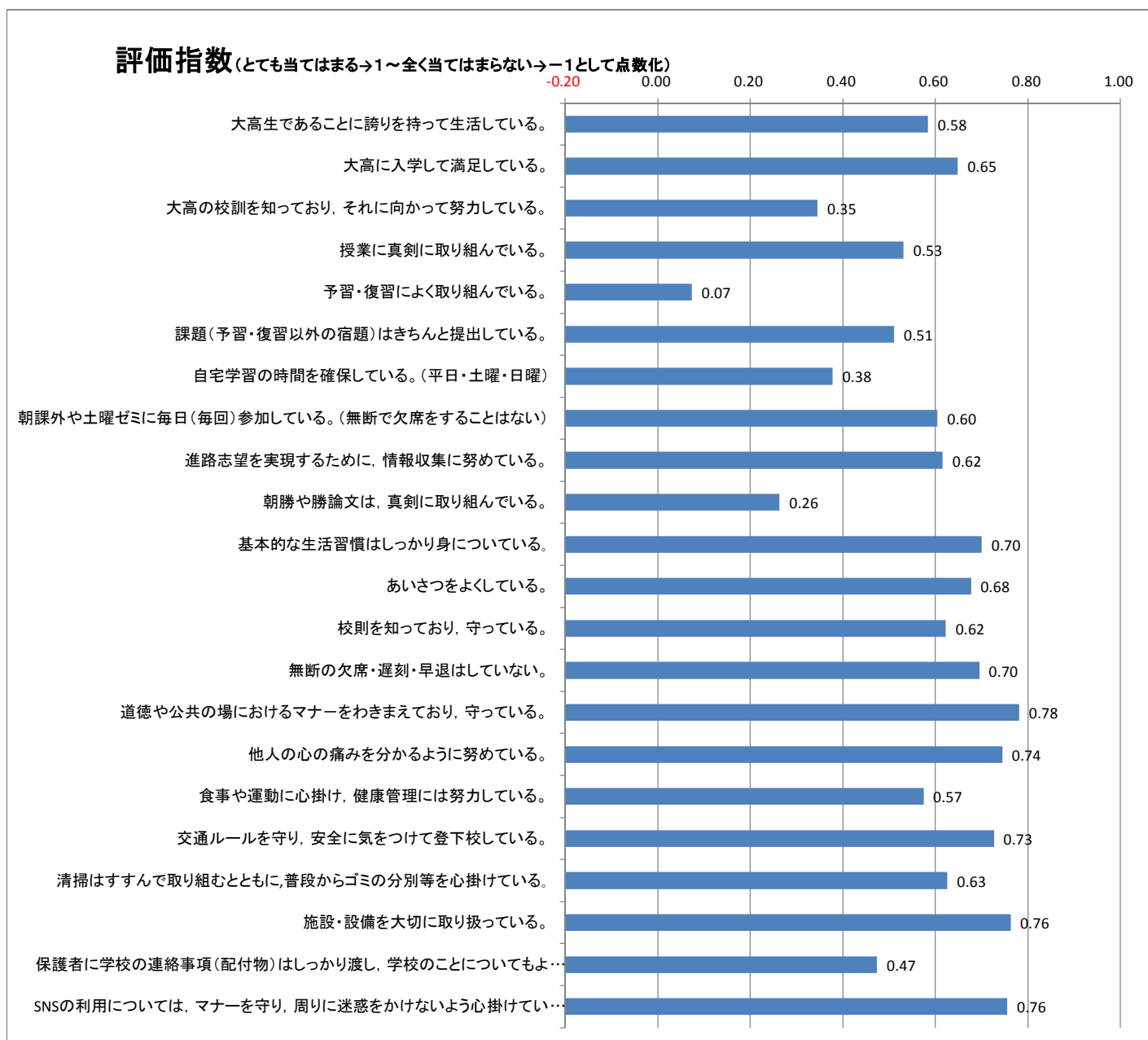
● 自己評価の低かった項目

- 第1位→ 予習・復習によく取り組んでいる。
- 第2位→ 自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)
- 第3位→ 大高の校訓を知っており、それに向かって努力している。

● 分析

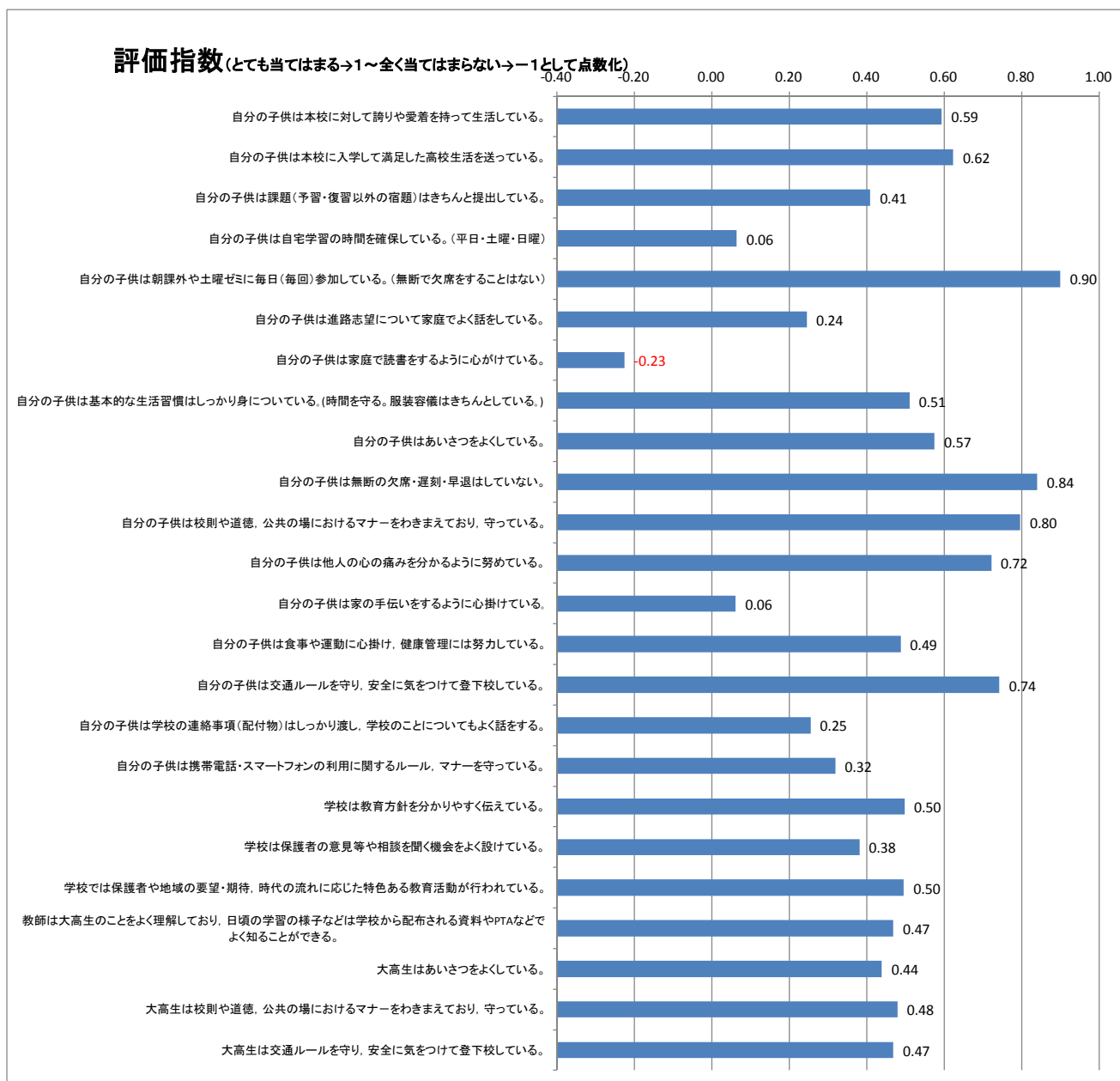
「予習・復習」の項目が気になる。1学期に比べて「朝勝への取り組み」・「健康管理の努力」・「清掃活動への取り組み」・「施設・設備を大切に扱っている」に関する項目が向上している。

平成30年度 第2回 学校生活に関する自己評価(生徒用)集計結果3年



- 自己評価の高かった項目
 - 第1位→ 道徳や公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。
 - 第2位→ SNSの利用については、マナーを守り、周りに迷惑をかけないように心掛けている。
 - 第2位→ 施設・設備を大切に扱っている。
- 自己評価の低かった項目
 - 第1位→ 予習・復習によく取り組んでいる。
 - 第2位→ 朝勝や勝論文は、真剣に取り組んでいる。
 - 第3位→ 大高の校訓を知っており、それに向かって努力している。
- 分析
 - 1学期と比べて、大きな変化はない。「進路に関する情報収集」の項目が向上している(「0.47」→「0.62」)。
 - 1・2・3学年ともに「SNS」のマナーに対する意識は高い。今後は「携帯・スマートフォン」そのものの校外での活用状況について、質問することが必要である。

平成30年度 第2回 学校生活に関する自己評価(保護者用)集計結果 1年



● 評価の高かった項目

- 第1位-自分の子供は朝課外や土曜ゼミに毎日(毎回)参加している。(無断で欠席をすることはない)
- 第1位-自分の子供は無断の欠席・遅刻・早退はしていない。
- 第3位-自分の子供は校則や道徳、公共の場におけるマナーをわかまえており、守っている。

● 評価の低かった項目

- 第1位-自分の子供は家庭で読書をするように心がけている。
- 第2位-自分の子供は家の手伝いをするように心掛けている。
- 第3位-自分の子供は自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)

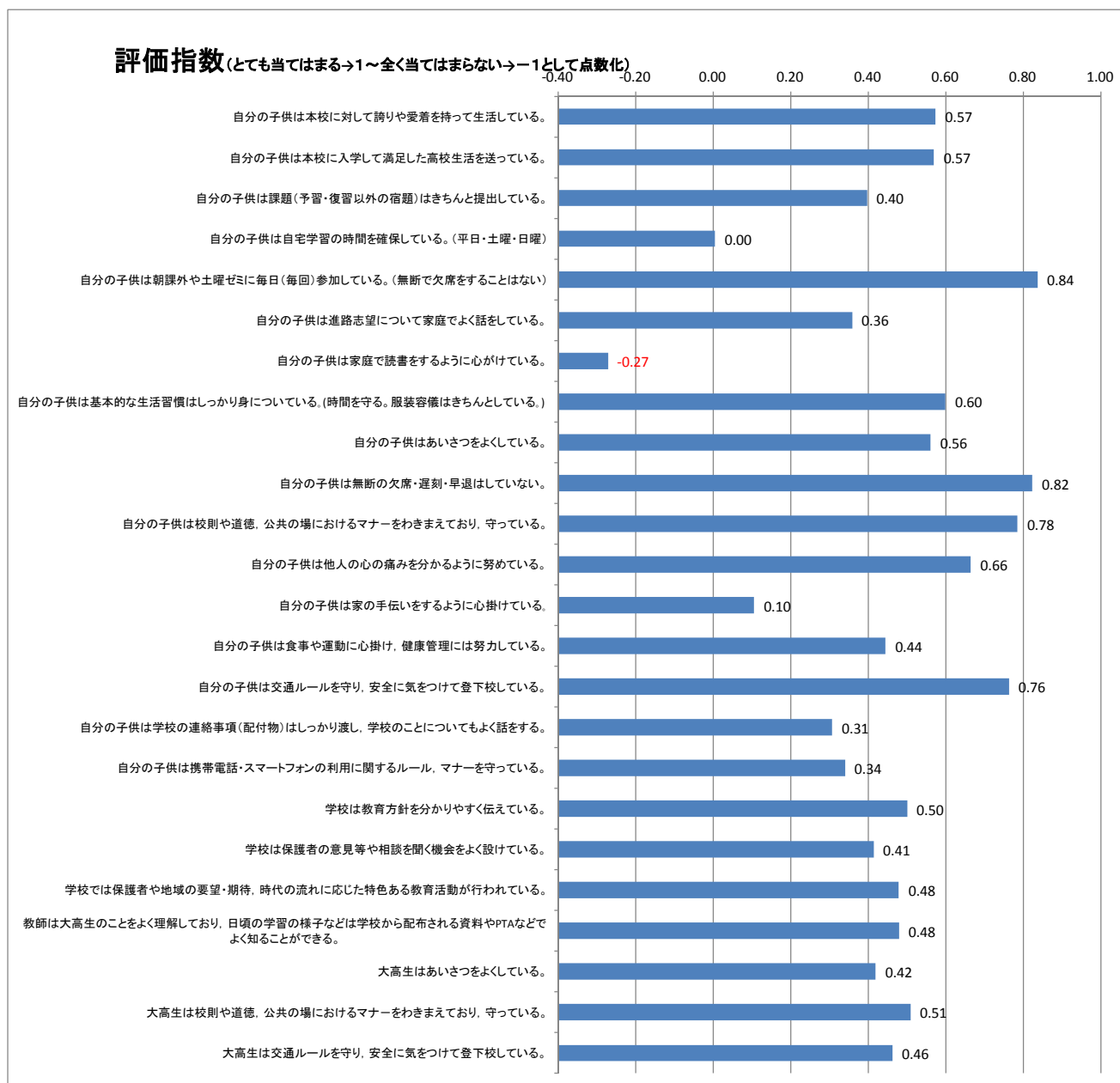
● 保護者による自由記述

配布物を郵送にできませんか。情報が周りから入る方が多いです。自分の子供だけだとは思いますが・・・。
 携帯電話の使用についてもっと自覚できる様な方法を教えてほしいです。使用時間が長すぎて不安です。
 やはり取り上げ等の方法しかないのでしょうか。
 クーラーが冷えすぎるので温度調節してください。
 朝課外に急いでいる生徒が多く、一時停止場所で止まらず(裁判所前)車で引きそうになりヒヤとした。
 靴の盗難が続くなど、モラルが問われています。靴箱にカメラ設置を希望します。
 通知表の用紙が薄すぎて、大切にしないような気がします
 自転車のマナーがなっていない。危険な運転をよく見かけます

● 分析

回答数188。下降している項目として、「自分の子供は学校の連絡事項を渡し学校の話をする」(「0.49」→「0.25」)、「課題・宿題の提出」(「0.63」→「0.41」)が気になる。保護者の意見では、携帯電話や自転車の問題が多い。

平成30年度 第2回 学校生活に関する自己評価(保護者用)集計結果 2年



● 評価の高かった項目

- 第1位-自分の子供は朝課外や土曜ゼミに毎日(毎回)参加している。(無断で欠席をすることはない)
 第2位-自分の子供は無断の欠席・遅刻・早退はしていない。
 第3位-自分の子供は校則や道徳、公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。

● 評価の低かった項目

- 第1位-自分の子供は家庭で読書をするように心がけている。
 第2位-自分の子供は自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)
 第2位-自分の子供は家の手伝いをするように心掛けている。

● 自由記述欄では、次のような御意見をいただきました。

いつもありがとうございます

片手に携帯を持って自転車に乗る姿をよく見かけます。もっと指導していただけたらと思います。

学校からの連絡及び宿題をパソコンやスマホで行うのをやめてほしい。持っている家庭が100%ではないので考慮してほしい。

上履きの色の男女別指定をやめてほしい。男性・女性はありません。指定をするなら一色に。

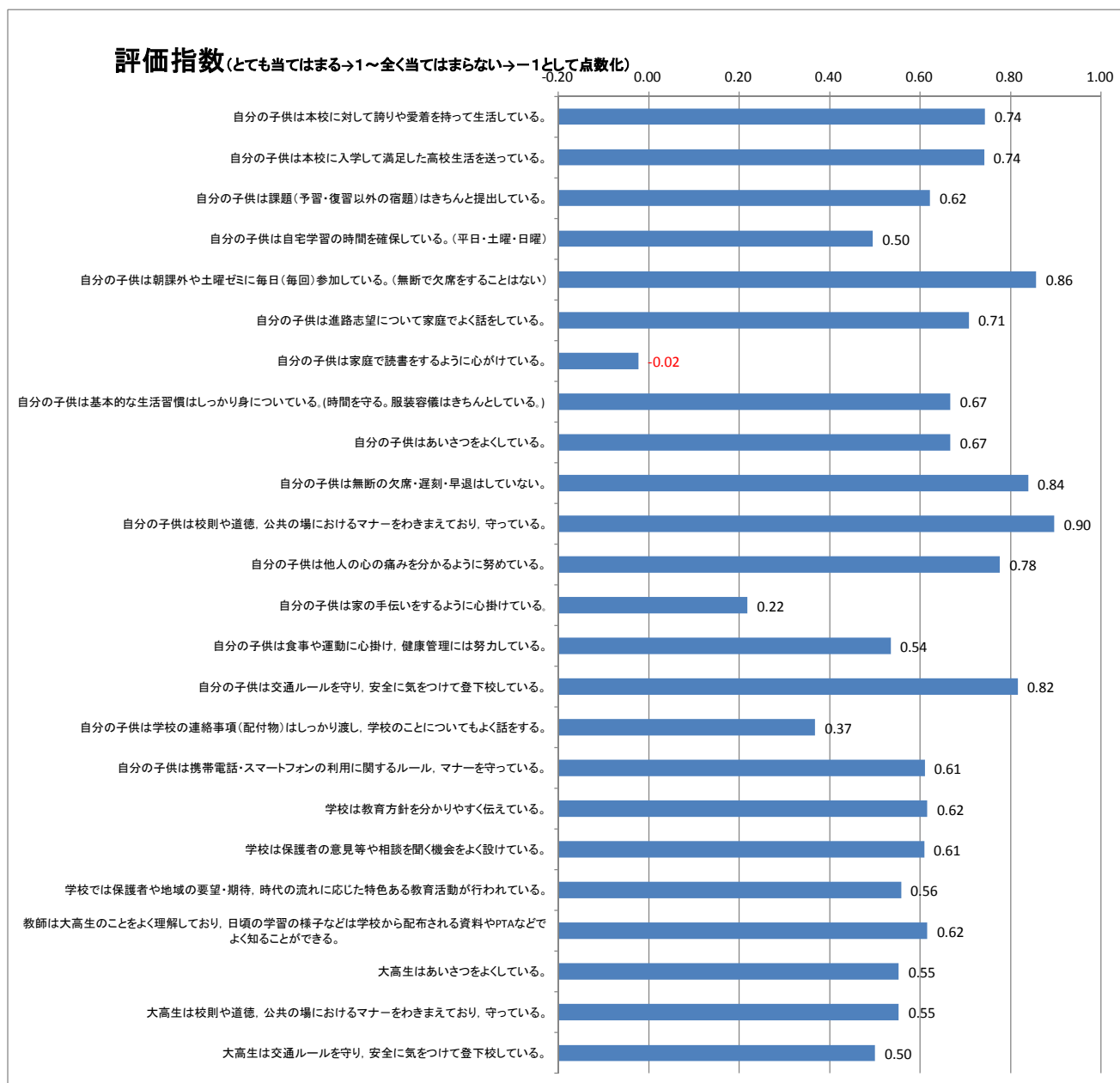
英語で会話する機会をたくさん作ってほしい。(日常会話をすべて英語で話す日を作るとか)

● 分析

回答数 116。保護者の自由記述において、他学年と同様、自転車や携帯のマナーが指摘されている。

1学期と比べて大きな変化はないと言えるが、課題の提出に関する項目では「0.65」→「0.40」と大きく下がった。

平成30年度 第2回 学校生活に関する自己評価(保護者用)集計結果3年



● 評価の高かった項目

- 第1位-自分の子供は校則や道徳、公共の場におけるマナーをわかまえており、守っている。
 第2位-自分の子供は朝課外や土曜ゼミに毎日(毎回)参加している。(無断で欠席をすることはない)
 第3位-自分の子供は無断の欠席・遅刻・早退はしていない。

● 評価の低かった項目

- 第1位-自分の子供は家庭で読書をするように心がけている。
 第2位-自分の子供は家の手伝いをするように心がけている。
 第3位-自分の子供は学校の連絡事項(配付物)はしっかり渡し、学校のことについてもよく話をする。

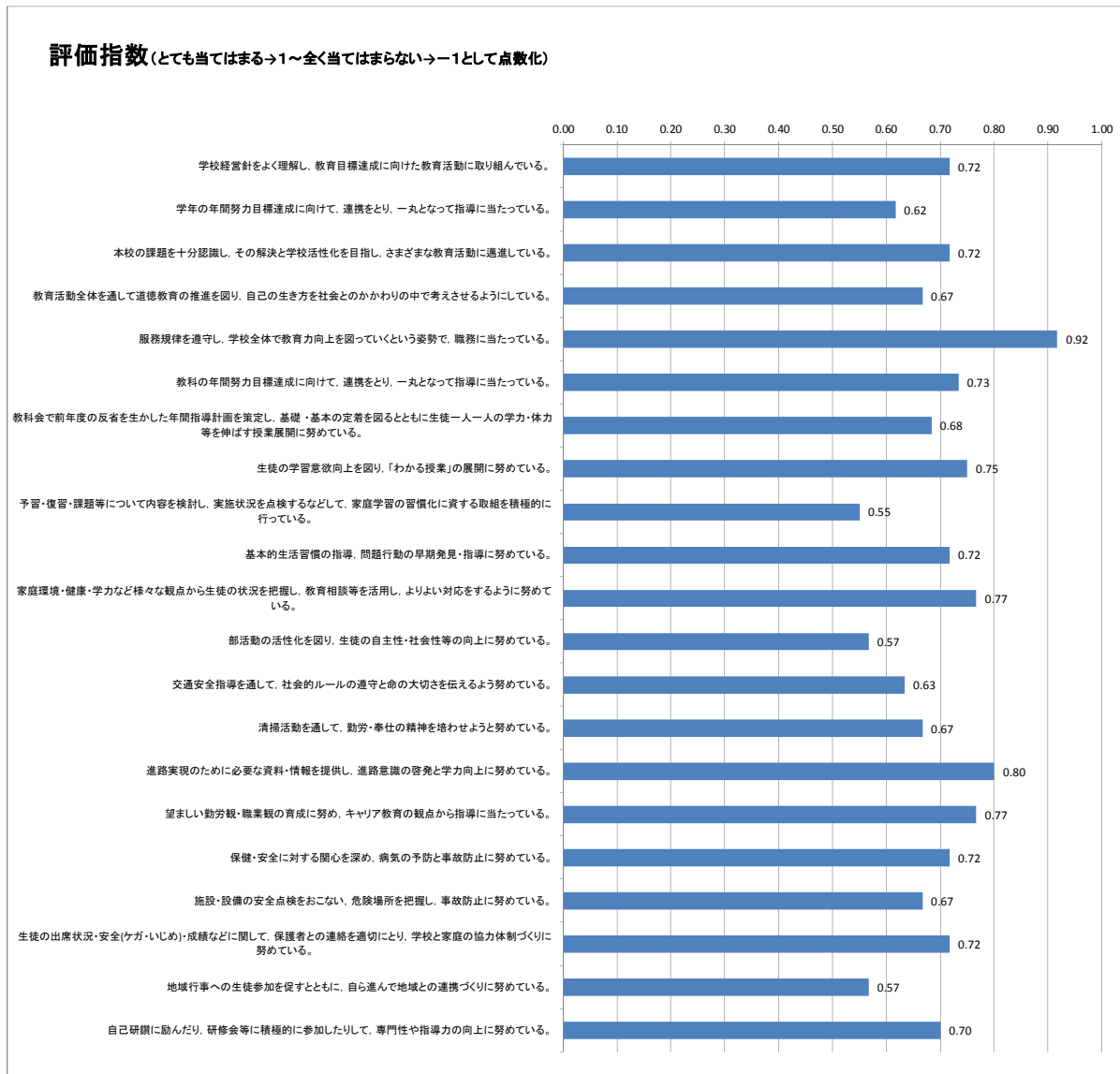
● 保護者による自由記述

自転車運転しながら、スマートフォンを見ている。
 スマホを片手に自転車に乗る姿が時々見られ、危険を感じます。
 生徒の声に傾聴していただき、対応していただき先生方に感謝しています。有り難うございます。
 進路決定者がなぜセンター試験を受けなければならないのか。進学関連でお金がかかるので、出費を抑えたい。
 朝の送迎がマナー・ルールを守っていない親が多い。非常に常識がない。迷惑!学校から再度通達してほしい。
 大島高校に入学・卒業できることに感謝です。
 下校時、横に広がって危険な状況を目にします。学校でもご指導お願いします。
 交通ルールに関しては、まだまだ生徒自身の意識が低いように感じます。
 自転車通学の交通マナーを徹底してほしい。無灯火や携帯見ながらの走行がひどい。

● 分析

回答数86。大きな変化はない。保護者の自由記述では、自転車のマナーに対する指摘が多い。
 特に、自転車に乗りながら携帯を使用する生徒に対する手立てが必要である。

平成30年度 第2回 自己評価(職員用)集計結果



● 自己評価の高かった項目

- 第1位 → 服務規律を遵守し、学校全体で教育力向上を図っていくという姿勢で、職務に当たっている。
- 第2位 → 進路実現のために必要な資料・情報を提供し、進路意識の啓発と学力向上に努めている。
- 第3位 → 望ましい勤労観・職業観の育成に努め、キャリア教育の観点から指導に当たっている。
- 第3位 → 家庭環境・健康・学食など様々な観点から生徒の状況を把握し、教育相談等を活用し、よりよい対応をするように努めている。

● 自己評価の低かった項目

- 第1位 → 予習・復習・課題等について内容を検討し、実施状況を点検するなどして、家庭学習の習慣化に資する取り組みを積極的に行っている。
- 第2位 → 地域行事への生徒参加を促すとともに、自ら進んで地域との連携づくりに努めている。
- 第2位 → 部活動の活性化を図り、生徒の自主性・社会性等の向上に努めている。

● 分 析

「自己評価」の高い項目において、第2位の「進路実現のために必要な資料・情報を提供し、進路意識の啓発と学力向上に努めている」は、昨年度は下位であったものが大幅に向上した状況を維持している。第3位の「キャリア教育」の項目も向上しており、「高大接続改革」や「新学習指導要領」の改訂にともない、職員の意識が高まったことがうかがえる。同じく第3位の「生徒の状況把握」に関する項目についても「いじめ・不登校委員会」等の充実が反映されているものとみられる。

一方で、評価の低い項目において、前回同様、第1位が「家庭学習」への指導に関する項目となっている。第2位の「地域参加」に関する項目はポイントとして前回より向上している。